

星稜 サ・エ・ラ

seiryô çà et là 2025 No. 76

inaokigakuen news letter



特集

陸上男子100メートル
衝撃の10秒00で世界新(18歳未満)
星稜高等学校陸上競技部 清水 ^{そらと}空跳(2年生/Pコース)

星稜アレコレ

星稜 information

星稜トピック

総合研究所・SDGs産学地域連携センターだより
ご支援のお願い

星稜サ・エ・ラに関する
アンケート実施中!



回答者に抽選でQUOカードをプレゼント

陸上男子100メートル 衝撃の10秒00で世界新(18歳未満)



そらと

星稜高等学校陸上競技部 清水 空跳 (2年生/Pコース)

7月に広島市で開催された全国高校総体(インターハイ)の陸上男子100メートル決勝で、18歳未満の世界記録を上回る10秒00で優勝。桐生祥秀さんが持つ高校記録を12年ぶりに0秒01更新し、東京2025世界陸上競技選手権大会(通称:東京2025世界陸上)のリレーメンバーに選出されました。日本陸上界の新たなスターとなった清水空跳さんにインタビューしました。

●陸上競技を始めたきっかけから教えてください。

父は走り高跳び、母は100メートル障害、姉は400メートル障害と家族全員が陸上をやっていたので、自分も陸上を始めるのは自然なことでした。本格的に陸上を始めたのは、小学4年生の時に地元のクラブチームに入ってからです。

母は星稜女子短期大学(現在の金沢星稜大学女子短期大学部)、姉は星稜高校出身ということもあって、自分の中で星稜を身近に感じていました。特に姉からは陸上競技部の楽しそうな雰囲気伝わってきたこともあり、進学する決め手の一つになりました。

●陸上競技をしていて、もっともうれしいと感じることは何ですか。

自己ベストを更新して優勝することが一番です。

また、インターハイ後、通学途中やいろいろな所で本場にたくさんの人から声をかけてもらえるようになりました。この間も家族で買い物に行った時に、知らないおじいちゃんとおばあちゃんから「応援してるよ」「頑張ってるね」と言われて少しびっくりしましたが、うれしかったです。

これからも応援される選手であり、自分の走りて人を笑顔にしたいと思っています。

●星稜高校入学後、「桐生祥秀さんの日本高校記録10秒01を更新してインターハイチャンピオンになる」という目標を立てていましたが、まさに有言実行ですね。いつも目標を持って取り組んでいる印象がありますが、意識していることはありますか。

陸上を始めて全国を目指すようになってからずっと目標を立てていて、絶対に目標は達成するものだと思って取り組んでいます。また、目標はいつも言葉にも出して、自分にインプットさせています。

●決勝では先の組の選手が10秒06の好タイムでゴールするのを見てからスタートになりましたが、プレッシャーになりませんでしたか。

そうですね。「自分が強い、自分がトップだ」と思わないと絶対にやっていけません。中学3年生の時に、全国で優勝を目指してからずっと自分が最強だと思っています。あと、姉から「強くなってきた、周囲からいろいろ言われると思うけど、気にせず、自分の好きなようにやればいい」と言われたことも心に留めてやっています。



一問一答でわかる！ 清水さんの素顔

Q1:自分の性格は？

負けず嫌いです。

Q2:大会前のルーティン (験担ぎや習慣)は？

(金沢市で寿司店を営んでいる)父に家で寿司を握ってもらいます。

Q3:休みの日はありますか？

日曜日は大会がない限り、完全にオフです。ゲームをしたり、友人と遊んでいます。

Q4:趣味は？

おいしいカフェやお店探します。金沢21世紀美術館のそばにお気に入りのカフェがあり、ここのパイは最高ですよ。将来的には料理人になりたいと思っているので、お菓子作りも好きです。

Q5:好きな教科と嫌いな教科は？

強いていえば英語が好きです。苦手な教科は数学の一択です。

●顧問である西野先生の指導は、どの様に大会で生かせましたか。

西野先生は走者の感覚と先生の視点を照らし合わせながら的確なアドバイスをくれます。たとえば私が「スタートの感覚が悪かった」と伝えると、先生はすぐに改善点を検討してくれて、「じゃあ次からこうしよう」と指導してくれるので、次のアップからすぐに修正できます。

実際、インターハイの予選から決勝にかけて、スタートの感覚がうまく修正できたのも西野先生の的確な指導のおかげです。

●モチベーションを維持し続けるために、心掛けていることはありますか。

ちよつとでも悪いなとか、駄目だなと思つたら、そこで無理をするのがをしようとしてリスクもあるので練習をやめるようにして

います。ただ悪かったイメージで1日が終わらないように、違うことをしたり、遊びに行ったりしてとにかく切り替えるようにしています。

●ご自身の走りで、特に注目してほしいポイントはどこですか。

この身長(164センチ)なので、あまり速くないだろうと思っている人もいっぱいいると思います。それでもこの身長だからできる走りがあるって、これだけ速くて強いぞというところを見てほしいです。

●最後に今後の目標を教えてください。

高校生のうちに9秒台を出したいです。10秒00じゃ終われないと思っているので、そこを目標にしています。

短大 新入生歓迎祭を開催しました

4月12日(土)・13日(日)、大学の新生歓迎祭としてソフトバレーボール大会が体育館メインアリーナにおいて行われ、ゼミ生同士の親睦を深めました。また学内ではクラブサークル紹介入部受付ブースが設けられ、一部のクラブを除き56団体が各ブースで勧誘活動を行いました。また軽音楽部はA11教室で新歓ライブを、Highway Star(ダンス)、CRASH! KID POPダンスは稲置講堂でショーケースを披露し、それぞれ盛り上がりました。

また、4月19日(土)には短大部の新生歓迎祭が体育館メインアリーナにて開催。クラス対抗ドッジボール大会(フライングディスク競技)とA・Bクラスvs C・Dクラスの借り人競争を実施し、熱戦を繰り広げました。



短大 いよいよ就活本格期へ

4月19日(土)・20日(日)、1年次を対象に『星短スタートアップ研修(キャリアア合宿)』を石川県青少年総合研修センターにて実施しました。過去・現在・未来を軸に、高校までの自分を振り返るワークやディスカッションを行い、2年間の目標を設定しました。社会で活躍中の星短卒業生4名をゲストに迎え、質問タイムでは時間いっぱいまで積極的に先輩に質問していました。自己紹介ゲームを通して同級生との交流、グループディスカッションでは意見を出し合い、まとめ発表する研修を通して、限られた時間の中で何に取り組み、どのような社会人になりたいかをじっくり考える機会となりました。



★ 国際大会・全国大会出場!

第45回全日本大学ソフトテニス王座決定戦
ソフトテニス部女子団体

第80回三笠宮賜杯全日本学生ソフトテニス選手権大会

中 虹貫(経営学科3年次)・
宮本 丈寛(スポーツ学科1年次) ペア
中村 洸太郎(経営学科3年次)・
田村 大河(経営学科2年次) ペア
中山 俊太郎(経営学科3年次)・
林 晴一(経営学科2年次) ペア
脇本 一樹(経営学科3年次)・
杉本 隼(地域システム学科2年次) ペア
轡田 愛(経済学科3年次)・
嶋垣 由愛(経営学科1年次) ペア
佐野 愛里紗(スポーツ学科3年次)・
大居 愛美(スポーツ学科2年次) ペア

トランポリンワールドカップ
コインブラ大会

山崎 凌空(スポーツ学科4年次)
美田 靖文(スポーツ学科3年次)

第60回全日本学生

トランポリン競技選手権大会
山崎 凌空(スポーツ学科4年次)
木村 心春(スポーツ学科3年次)
美田 靖文(スポーツ学科3年次)
今本 修成(スポーツ学科2年次)
澤田 守杏(スポーツ学科2年次)
都竹 奏翔(スポーツ学科2年次)
赤石 泰雅(国際文化学科1年次)
大藤 彩(スポーツ学科1年次)
番所 駿斗(スポーツ学科1年次)
松岡 龍吾(スポーツ学科1年次)

短大 ソレイユプロジェクト「大谷塩」の普及促進

5月4日(日)、大学短大部の2年次を対象に、今年度初の「ソレイユプロジェクト」を実施しました。珠洲市大谷地区製塩関係者から寄せられた「珠洲の今を知ってほしい」という声から、2年ぶりに開催される「大谷川鯉のぼりフェスティバル」の運営ボランティアとして地元の方々と交流しました。震災と豪雨で被害に遭った揚げ浜式製塩の「大谷塩の普及」をテーマに、大谷塩の魅力が伝わる試食品(レンコンチップス、五郎島金時さつま芋もチップス、塩レモンサイダー、塩キャラメルなど)を手作りで創作し、フェスティバルの来場者に無料で振る舞いました。当日の大谷塩の売上げは100袋を超え、観光客や地元の方々に珠洲で生まれた塩を「味覚」を通じて知ってもらう取り組みになりました。また、子どもたちの交流として、「こども緑日」の出店や「星短こいのぼり」を制作するなど、珠洲に元気を届けることができた1日となりました。



★運動会を開催しました

5月18日(日)、運動会を開催しました。毎年、春と秋に学友会が企画し行われています。今回は雨天のため体育館メインアリーナでの開催となりました。

8チーム約60名の学生が参加し、借り人競争、玉入れ、障害物競走、ムカデ競走、〇×クイズ、綱引き、リレーの7種目で争い、抜群のチームワークを発揮した「さくそう」チームが優勝しました。



★短大「チーム星稜」百万石踊り流しに参加し、「スマイル賞」を受賞!

「第74回金沢百万石まつり」の行事の一つとして6月7日(土)に開催された「百万石踊り流し」に、大学生、短大生、留学生、附属幼稚園の園児と保護者、教職員の総勢109名で「チーム星稜」として参加しました。

今年の「百万石踊り流し」は市内の企業団体・グループ76チーム、飛び入りコーナーをあわせ全体で約8500人が市中心部に集結。「ふれあい音頭いね金沢」、「金沢ホーヤネ」、「百万石音頭」の3曲の踊りを披露しました。

若さあふれる笑顔と情熱を込めた掛け声が会場内に響き渡り、「チーム星稜」は見事「スマイル賞」を受賞しました!



★パパママに極上のお風呂タイムを!

6月21日(土)能登復興を掲げた星稜ボランティア事業として、「出張!パパママ銭湯(2回目)」が、いこいの村能登半島(志賀町)で開催され、「パパママ銭湯応援隊」に所属する人間科学部こども学科12名の学生が、未就学児をもつ世帯を対象に入浴支援を実施しました。

学生たちはあらかじめ宝達志水町、羽咋市、志賀町付近の15の幼保施設を巡り、約800世帯の親御さんへの宣伝告知を開始。その成果もあり、当日は約30世帯のご家族が来館し、当日は子どもで大賑わいとなりました。親御さんにとっても大変満足していただき、日々の慌たらしい子育てから少し解放されたお風呂タイムを提供することができました。次回は10月頃に能登町・輪島付近で実施予定です。



★短大 MOONSHOT講座 前半戦

6月28日(土)・29日(日)、就職活動を早期から戦略的に取り組みたい、インターンシップに積極的に挑戦したい!という申込みのあった69名の学生を対象に、MOONSHOT講座「夏のインターン必勝法マスター2DAYS」として宿泊研修を行いました。この2日間の講座は、通常の就職ガイダンスでは体験できない実践を多く取り入れているところが特徴で、プロの講師による指導が受けられます。学生の満足度はなんと98%!就職活動に対する漠然とした不安が払拭され、前向きに積極的に取り組みたいという感想が多く寄せられました。後半戦は9月中旬に面接対策を予定しています。



中高 GROW DORM 入寮式を行いました

4月10日(木)、本校中高総合寮GROW DORMにおいて入寮式を行い、中学生8名、高校生26名がGROW DORMファミリーの一員となりました。式では、ドミトリーマネージャー(寮代表)が歓迎の言葉を、新入生代表が誓いの言葉を述べました。送り出してくださった家族の方への感謝を忘れず、夢に向かって邁進してくれることを期待しています。



高校 県高校総体・総文激励会を行いました

5月16日(金)、中間試験終了後に石川県総合体育大会総合文化祭に出席する生徒に対し、激励会を行いました。激励と全校生徒による応援を受け、3年生部員を代表し女子バスケットボール部主将の大西さんが「支えられて今の私たちがいる。熱心に指導してくれる先生、近くで応援してくれる家族、共に練習してきた仲間感謝して、練習してきた成果を発揮したい。」と力強く健闘を誓いました。



中 「金沢東ジュニアイーグル隊」に委嘱されました

5月9日(金)、本校にて金沢東警察署生活安全課の方による「金沢東ジュニアイーグル隊」委嘱交付式を行い、生徒会長である2年生の大沼美旺さんが生徒の安全意識向上に努めていくと決意表明しました。今後は、生徒会と生活委員を中心に活動を進めていきます。まずはその第一歩として、少年の非行防止や犯罪被害の防止の重要性を伝える標語を作成し、校内に掲示する予定です。



中 写生大会を行いました！

6月6日(金)、本校にて写生大会を行いました。生徒たちは、学校敷地内から見える情景をテーマに、学校で一番好きなどころ、校舎と自然の調和、通い慣れた通学路などを感じ思い描きました。鋭い眼差しで真剣に取り組む姿、友人とリラックスしながら取り組む姿はまさに青春そのものでした。非日常の活動の中で、より一層、友人たちとの結びつきを深めることができました。



高 遠足に行ってきました！

5月2日(金)、1年生は岐阜県の郡上八幡、2年生は長浜市の黒壁スクエア、3年生は飛騨高山に行ってきました。バスの移動も含めてクラスで過ごす時間が長く、絆も深まりました。この深まった仲を、これからの生活にも生かし、クラスの間をより良いものにしてほしいと思います。



中 春の遠足に行ってきました！

5月2日(金)、1年生は河愛の里Insulideで薪割体験やBBQ、2年生は尾小屋鉱山の見学と加賀フルトランドでのBBQ、3年生はゆのくにの森で石川県の伝統工芸の体験をする遠足に行ってきました。どの学年も充実した内容で、生徒たちのほじける笑顔がたくさん見ることができました。



中 1年生 オークストラ鑑賞会に行ってきました

6月4日(水)、1年生が石川県立音楽堂で行われた、金沢の文化鑑賞事業であるオークストラ鑑賞会に参加しました。会では、オークストラアンサンブル金沢の皆さんが、クラシックの名曲から生徒たちなじみのあるJPOPまで多様な曲を演奏されました。生の演奏を聴くことは初めての生徒も多く、皆迫力のある演奏に引き込まれていました。また、鑑賞のマナー等を学ぶこともでき、貴重な体験となりました。



中 2年生 金沢素囃子鑑賞会に参加しました

7月1日(火)、2年生が石川県立音楽堂邦楽ホールで行われた金沢素囃子鑑賞会に参加しました。この会は、市の無形文化財である「金沢素囃子」に中学生が触れる機会を提供しようと、金沢市が取り組んでいる事業です。金沢素囃子保存会の方々が演奏された「元禄花見踊」や「操三番叟」は格調高く、生徒たちは息の合った三味線の音色やお囃子に圧倒されているようでした。



★ 3年生 観能教室に参加しました！

7月8日(火)、3年生が石川県立能楽堂で行われた第76回観能教室に参加し、能「羽衣」と狂言「附子」を鑑賞しました。金沢という郷土に育った能狂言を受け継ぐ方々のご理解とご協力の下、登場人物の動きや話し方、地謡、囃子との調和などを楽しみました。生徒たちは事前学習で学んだことを振り返りながら、心の豊かさを育む貴重な時間を過ごすことができました。



★ 1・3年生 花壇の植替え作業を行いました！

7月8日(火)、1・3年生が技術家庭科の授業の一環で校舎内の花壇の植替え作業を行いました。生物育成に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得することを目的の一つとし、約800株の花々を大切に植替えました。本校生徒だけでなく地域の方々の目にも入る場所にあるため、たくさんの方々の楽しみにつながることが期待されます。



★ 中高 3月からの主な部活動成績

【星稜高等学校】

第37回中部日本個人・重奏コンテスト本大会 高等学校部門 重奏の部

- ・フルート三重奏
- ・銀賞

第73回石川県吹奏楽コンクール

- ・銀賞

第49回全国高等学校囲碁選手権大会石川大会

- ・男子団体戦
- ・第1位
- ・男子個人戦
- ・第2位 小早川 拓海

第61回全国高校将棋選手権石川県大会

- ・男子団体戦
- ・第3位 畠 爽流、福田 瑛二、中川 真志
- ・男子個人戦A級
- ・第3位 畠 爽流

第45回石川県高等学校総文美術展

- ・美術工芸部門
- ・優秀賞 渡邊 さくら

第45回石川県高等学校総合文化祭 邦楽合同発表会

- ・優良賞

令和7年度石川県高等学校春季弓道大会

- ・女子団体
- ・第2位
- ・女子個人
- ・第3位 西野 綺涼

令和7年度石川県高等学校総合体育大会 弓道競技

- ・団体女子の部
- ・第1位
- ・個人女子の部
- ・第2位 澤越 楓花

令和7年度北信越高等学校体育大会 第55回北信越高等学校弓道大会

- ・女子団体
- ・第3位

令和7年度石川県高等学校総合体育大会 剣道競技

- ・男子個人
- ・第3位 金丸 航大

令和7年度石川県高等学校ソフトボール春季大会 男子の部

- ・第2位

令和7年度石川県高等学校総合体育大会 ソフトボール競技

- ・男子の部
- ・第2位

令和7年度石川県高等学校ソフトボール春季大会

- ・女子
- ・第3位

令和7年度石川県高等学校総合体育大会 ソフトボール競技

- ・女子の部
- ・第3位

令和7年度北信越高等学校総合体育大会ソフトボール選手権大会

- ・ベスト8

令和7年度石川県バレーボール祭 (高校の部)

- ・女子
- ・第3位

令和7年度石川県高等学校総合体育大会 バレーボール競技

- ・女子
- ・第2位

第152回北信越地区高等学校野球石川県大会

- ・第3位

第107回全国高等学校野球選手権石川大会

- ・第3位

第12回全日本トランポリン競技年齢別選手権大会

- ・ジュニア男子
- ・第2位 神山 空駕
- ・AGE3男子
- ・第1位 長谷川 碧人
- ・AGE3男子
- ・第2位 田山 雄貴
- ・ジュニア女子
- ・第1位 石坂 莉乃
- ・AGE3女子
- ・第2位 南 葉奈

令和7年度石川県高等学校総合体育大会 トランポリン競技

- ・Aクラス個人男子
- ・第1位 長谷川 碧人
- ・Aクラス個人男子
- ・第2位 田山 雄貴
- ・男子総合
- ・第2位
- ・Aクラス個人女子
- ・第1位 南 葉奈
- ・Aクラス個人女子
- ・第2位 塚本 莉子
- ・女子団体
- ・第1位

令和7年度石川県高等学校総合体育大会 テニス競技

- ・男子団体
- ・第3位 川西 由人、神佐 惇、堀内 聡介、高橋 陽景、前田 亮成

・女子団体

- ・第3位 中森 琴葉、末田 奈都、寺田 伊織、前田 柚菜、春木 優里奈

令和7年度石川県高等学校総合体育大会 レスリング競技

- ・60kg級
- ・第1位 水橋 叶多

令和7年度石川県高等学校総合体育大会 空手道競技

- ・男子団体組手
- ・第2位
- ・男子団体形
- ・第2位
- ・女子団体組手
- ・第3位
- ・女子団体形
- ・第3位

令和7年度石川県高等学校総合体育大会 サッカー競技

- ・女子の部
- ・第3位

令和7年度石川県高等学校総合体育大会 サッカー競技

- ・男子の部
- ・第2位

第3回大島鎌吉記念陸上競技大会

- ・男子やり投
- ・第2位 横川 徹成
- ・女子走幅跳
- ・第1位 藤本 茉優

ダンマームU18アジア選手権大会

- ・100m
- ・第1位 清水 空跳

令和7年度石川県高等学校総合体育大会

第78回石川県高等学校陸上競技対校選手権大会

- ・男子総合
- ・第1位
- ・男子トラック
- ・第1位
- ・男子フィールド
- ・第1位
- ・男子100m
- ・第1位 清水 空跳
- ・男子100m
- ・第3位 直江 健之介
- ・男子200m
- ・第1位 清水 空跳
- ・男子200m
- ・第3位 直江 健之介
- ・男子400m
- ・第3位 赤松 由規
- ・男子800m
- ・第3位 荻安 渉
- ・男子1500m
- ・第3位 徳山 潤
- ・男子3000mS. C
- ・第2位 徳山 潤
- ・男子110mH
- ・第3位 吉田 虎ノ介
- ・男子走幅跳
- ・第2位 大橋 由剛
- ・男子三段跳
- ・第2位 濱野 翔琉
- ・男子三段跳
- ・第2位 吉森 匠柁
- ・男子砲丸投
- ・第1位 門田 育知
- ・男子円盤投
- ・第2位 門田 育知
- ・男子やり投
- ・第1位 横川 徹成
- ・男子八種競技
- ・第1位 廣川 祥真
- ・男子八種競技
- ・第2位 渡曾 皐
- ・男子4×100mR
- ・第1位 渡曾 皐、直江 健之介、菊田 楓、清水 空跳、赤松 由規、森 渉、清水 空跳

- ・男子4×400mR
- ・第2位

- ・女子総合
- ・第1位
- ・女子トラック
- ・第1位
- ・女子フィールド
- ・第2位

- ・女子100m
- ・第2位 能口 心和
- ・女子200m
- ・第2位 能口 心和
- ・女子200m
- ・第3位 石本 愛佳
- ・女子400m
- ・第3位 松山 桜彩
- ・女子800m
- ・第1位 松山 桜彩
- ・女子800m
- ・第2位 中村 沙耶
- ・女子1500m
- ・第1位 辻本 ひまり
- ・女子1500m
- ・第3位 福井 悠妃
- ・女子3000m
- ・第1位 辻本 ひまり
- ・女子3000m
- ・第3位 久田 心希
- ・女子5000mW
- ・第1位 北川 結菜
- ・女子走幅跳
- ・第1位 藤本 茉優
- ・女子走幅跳
- ・第2位 表 陽向
- ・女子走高跳
- ・第2位 片岸 希衣

【星稜高等学校】

- 女子七種競技 第1位 谷口 依吹
- 女子七種競技 第2位 鬼頭 明沙
- 女子4×100mR 第1位 谷口 依吹、能口 心和
- 女子4×400mR 第1位 表 陽向、清水 あさみ
- 女子4×400mR 第1位 中村 沙耶、石本 愛佳
- 女子4×400mR 第1位 能口 心和、松山 桜彩

第86回石川県陸上競技選手権大会

- 男子100m 第2位 渡曾 皇
- 男子5000mW 第3位 北川 琉空
- 男子走高跳 第2位 森田 悠斗
- 女子砲丸投 第3位 湯浅 華子

北信越高等学校体育大会

第64回北信越高等学校陸上競技対校選手権大会

- 男子総合 第1位
- 男子100m 第1位 清水 空跳
- 男子100m 第6位 直江 健之介
- 男子200m 第1位 清水 空跳
- 男子200m 第6位 直江 健之介
- 男子800m 第7位 荏安 涉
- 男子走幅跳 第5位 大橋 由剛
- 男子三段跳 第3位 濱野 翔琉
- 男子砲丸投 第2位 門田 育知
- 男子やり投 第1位 横川 徹成
- 男子八種競技 第8位 渡曾 皇
- 男子4×100m 第3位 渡曾 皇、直江 健之介
- 男子4×100m 第5位 菊田 楓、清水 空跳
- 男子4×100m 第6位 松山 桜彩
- 男子4×100m 第6位 中村 沙耶
- 女子800m 第5位 辻本 ひまり
- 女子800m 第5位 北川 結菜
- 女子1500m 第1位 藤本 茉優
- 女子5000mW 第4位 五所村 アコ
- 女子5000mW 第1位 藤本 茉優
- 女子走幅跳 第7位 表 陽向
- 女子走幅跳 第5位 石本 愛佳、能口 心和
- 女子4×100m 第5位 表 陽向、清水 あさみ
- 女子4×100m 第5位 中村 沙耶、石本 愛佳
- 女子4×100m 第5位 能口 心和、松山 桜彩

第79回国民スポーツ大会 陸上競技石川県予選会

- 男子少年B100m 第1位 松田 涼太
- 男子少年A300m 第2位 小菱 桜雅
- 男子少年共通800m 第2位 荏安 涉
- 男子少年共通800m 第3位 森 幸翔
- 男子少年B走幅跳 第1位 大橋 由剛
- 男子少年B走幅跳 第2位 桑名 希一
- 男子少年B走幅跳 第3位 廣川 祥真
- 男子少年A三段跳 第1位 濱野 翔琉
- 男子少年Aやり投 第2位 横川 徹成
- 女子少年B100m 第1位 能口 心和
- 女子少年A100m 第2位 清水 あさみ
- 女子少年A100m 第3位 表 陽向
- 女子少年A300m 第1位 石本 愛佳
- 女子少年A800m 第1位 中村 沙耶
- 女子少年A800m 第2位 松山 桜彩
- 女子少年B1500m 第3位 福井 妃紗奈
- 女子少年B走幅跳 第1位 藤本 茉優
- 女子成年走高跳 第3位 片岸 希衣
- 男子成年3000mSC 第2位 岡本 泰人
- 男子少年A5000m 第2位 徳山 潤
- 男子少年A円盤投 第3位 門田 育知

- 女子少年A3000m 第1位 辻本 ひまり
- 女子少年A3000m 第2位 久田 心希
- 女子少年A3000m 第3位 福井 悠妃
- 女子少年A5000mW 第1位 北川 結菜
- 女子少年A5000mW 第2位 五所村 アコ
- 女子少年A三段跳 第2位 川合 優那

【星稜中学校】

第22回石川県ジュニアゴルフ選手権競技

- 男子12歳～14歳の部 第2位 北村 真寛

第35回若獅子旗争奪中学選抜剣道白山大会

- 男子個人 敢闘賞 大野木 龍翔
- 男子個人 敢闘賞 丹尾 和詩

金沢市中学校 春季競技大会 剣道競技

- 男子個人3年の部 第1位 大野木 龍翔
- 男子個人3年の部 第2位 丹尾 和詩

令和7年度金沢市中学校春季競技大会

- 男子個人3年生の部 第1位 大野木 龍翔
- 男子個人3年生の部 第2位 丹尾 和詩
- 男子個人1年生の部 第3位 矢澤 志堂
- 男子団体 第3位

令和7年加賀地区中学校体育大会 剣道競技

- 男子団体 第1位

第68回石川県中学校剣道大会

- 男子個人戦 第1位 大野木 龍翔
- 男子団体 第3位

金沢市中学校陸上競技大会

- 男子共通800m 第5位 宗藤 舜
- 男子共通1,500m 第7位 宗藤 舜
- 女子共通800m 第7位 春山 燎里
- 女子共通1,500m 第8位 横山 莉沙子
- 女子共通3,000m競歩 第8位 横山 莉沙子

第22回かほく市総合スポーツ大会陸上競技

- 中学男子走幅跳 第1位 宗藤 舜
- 中学男子1,500m 第2位 宗藤 舜

第12回全日本トランポリン競技年齢別選手権大会

- AGE2男子 第2位 室野 尊

金沢市中学校 春季競技大会 サッカー競技

加賀地区中学校体育大会 兼 県体予選会 (北加賀ブロック) サッカー競技

第63回石川県中学校サッカー大会

第46回北信越中学校総合競技大会サッカー競技

令和7年度全国中学校体育大会

第56回全国中学校サッカー大会

金沢市中学校春季競技大会 軟式野球競技

第37回春季加賀地区中学校野球大会

第42回全日本少年軟式野球大会石川県大会

第42回全日本少年軟式野球大会ENEOSTーナメント 北信越ブロック予選会

第42回全日本少年軟式野球大会ENEOSTーナメント

令和7年度石川県中学生テニス選手権大会

- 男子個人シングルス 第2位 浦井 敦仁



「おおきくなあれ〜」と毎日ジョウロで水やりをしているとある日、白い花がいくつ咲いているのを見つけた。その花の下には・・・小さな赤ちゃんピーマンが!!「なんで?」「ちいさいね」「かわいいね」と大喜びです。だんだんと大きくなっていく様子を楽しみに雨の日は保育室からも観察していたこともたち!生長を待ちきれなくて小さなピーマンを思わず、手に採った子も大切に持ち帰りお家でおいしく食べたそうです。給食にピーマンが入っているのを探して、見つけるとうれしそうに大きな口を開けて「おいしいね」と笑顔でばかり。自分たちで作った野菜に親しみを持って食べています。

☆「うわっ!ピーマンだ!」
と春に植えたピーマン
を収穫しました☆



☆学生との交流☆

「プログラミング教室」

金沢星稜大学 清水教授監修のもと、学生が来園し星稜幼稚園が大切にしている5つの星☆の輝き(5 STARS)の一つSTEAM教育のプログラミング教室(technology)が行われました。



「大学生の絵本読み聞かせ体験」

絵本の登場人物にちなんだ手作りパペット人形を使って学生お薦めの絵本を読んでくれました。「もう1回見たい」「面白かったー！」など、絵本のストーリーやパペット人形の動きを楽しんでいた子どもたちです。



☆小学生サマープログラム

始まりました☆

小学校1年生を対象に8月1日～8月31日の期間で、時間は朝夕方までお預かりしています。プログラムは夏休みの宿題、クラス活動の他、21世紀美術館見学、星稜中学校を訪問しスタ☆ラボ活動でのカレンダー作り、アート工房では夏休みの工作、その他様々な活動をしました。次年度は小学校1年生、2年生を対象として継続していく予定です。



☆水遊び☆

築山のジャブジャブポンプで汲み上げた水がジャブジャブ池へと流れ、池の中では子どもたちが気持ちよさそうに水遊びを楽しんでいます。流れてくる水を見た子どもたちから「きゃあー」「気持ちいい!!」と大歓声が聞かれ、水の冷たさや気持ちよさを感じ、夏ならではの水遊びを思い切り満喫しています。

「もっと水流して!!」「わかった!」「水いくよ!」「水溜まってきた?」など池で遊んでいる子とジャブジャブポンプを担当している年長児が楽しそうにやりとりしながら、ダイナミックな水遊びを楽しんでいます。



☆NOTO.NOT ALONE

(能登はひとりじゃない)

能登復興支援夏祭り開催☆

7月18日(金)、能登復興支援夏祭りが行われました。夏祭りに先駆け「被災で見た園の存在意義と役割」すべては子どもと地域社会のために」と題した講演会が行われ、穴水平和こども園園長の日吉輝幸先生から「能登の被災から復興、復興について」のお話を伺いました。講演会の後はゲームや盆踊り・スタンブラリーを楽しみ、美味しそうにカレーやフルーツポンチをほおばる姿が見られました。

今回の夏祭り会でご協力いただきました能登復興支援金311,492円は、能登町福祉協議会に寄付させていただきました。たくさんのご支援をありがとうございました。



☆リニューアルしました☆

【階段下コーナー】

森をイメージした階段下のコーナー。ゆつたりとした絵本コーナーや階段裏に取り付けた鏡コーナー。隠れ家のようなコーナーでじっくり、ゆったりと過ごしている子どもたちです。



Before



After

【2階 ゲームコーナー】

かわいい花びらがゆらゆらと揺れてとてもかわいい大型モビール。「お花、かわいい!!」「揺れてるね」と話しながらモビールの下で嬉しそうにゲームを楽しんでいる子どもたちです。



Before



After

【園庭 遊具庫】

園庭の遊具庫が新しくなりました。以前よりも中は広く、たくさんのお遊具が収納できます。



Before



After



☆自然と仲良し

里山こども園 ☆

6月11日(水)、年長児が里山こども園に参加し、夕日寺健民自然園へ遊びに行きました。まずはお世話になる森に挨拶をしました。よく耳を澄ますと、雨の音や鳥の声のお返事が聞こえてきました。インストラクターの方と一緒に普段は見ることのできない草花や虫を見つけじっくり観察していました。全身を使って思う存分自然を感じていた子どもたちです。



☆おいしい給食になあれ☆

給食に使う野菜をちぎったり皮をむいたりするお手伝いをしています。ぱくつと食べやすい大きさになるように考えてちぎったり、匂いを嗅いで「野菜の匂い」「いい匂い!」と友だちに伝えたりしていました。完成した給食を見て「自分たちが手伝ったんだよね」とうれしそうに話し、苦手な野菜でも食べてみようかなと頑張る姿がありました。



☆体を動かすって楽しい！☆

年中・年長児が、金沢星稷大学 井川貴裕スポーツ学科助教による体力測定に参加しました。10m走、方向転換走、4センチサーアジリティ、垂直跳びの4種目を測定し、たくさん走って体を動かし良い汗をかきました。年長児は昨年度に続き2回目。年中児よりタイムが伸びているか楽しみにしていた子どもたちです。

また、運動遊びのコーナーも設定し、1歳児から年長児までが運動遊びを楽しみました。トンネルをくぐったりバランスを取って歩いたりおもいきりジャンプしたり、色々な動きに挑戦していました。



☆1、2歳児
先生やお友だちと一緒に☆

入園し、園生活にも慣れてきた1、2歳児の子どもたち。好きな遊びを見つかったり、保育者と触れ合ったりしながらたっぷり遊んでいます。



☆思いやり絵本で心がぽかぽか☆

年少・年中・年長児が、思いやり絵本の読み聞かせを楽しみました。石川県の人権啓発活動として講師の先生に来ていただき、絵本『なかよしいいね』をはじめ、夏にまつわる絵本や紙芝居など様々なお話を読み聞かせてもらいました。また、ハンカチを使った手遊びなど参加型の活動もあり、体を使って楽しんでいます。お話の世界に入り込んで夢中になっていた子どもたちでした。



☆交通安全教室☆

金沢市交通政策課による交通安全教室を行いました。年少・年中・年長児が参加し、道路の危ない箇所を探したり横断歩道の渡り方を教えてもらい実際に歩いてみました。パネルを見て「赤信号は渡ったらだめ」「車とぶつかりそうになってる」と危ない箇所を見つけて話したり「右を見て、左を見て、もう一度右を見て」と声を合わせて渡り方を確認していました。特に年長児は来年から小学校に通うために真剣なまなざしでお話を聞いていました。



2024年度 財務の概要

【学校法人・学校法人会計とは】

学校法人とは、学校教育法・私立学校法の定めるところにより、私立学校の設置を目的として設立された法人です。一般に、企業は利益を追求することを目的としますが、学校法人は独自の理念に基づいて教育・研究活動を行い、その成果を社会に還元することを目的としています。したがって、学校法人はきわめて公共性の高い経営主体であるといえます。

それゆえに、学校法人は安定性・継続性（永続性）をもって教育・研究活動を行うことを求められます。たとえば、施設設備などの必要不可欠な資産の維持・充実は、自己資金で行わなければなりません。他方、学校法人は、私立学校振興助成法の定めるところにより、国または地方公共団体から教育の振興上必要な助成を受けることができます。

こうした特性を踏まえ、学校法人が適正な会計処理を行うための基準として制定されたのが「学校法人会計基準」です。国または地方公共団体から助成を受ける学校法人は、この基準に則って会計処理を行い、会計年度ごとに財務計算に関する書類を作成し、所轄庁に届け出ることが義務付けられています。また、このほかに収支予算書、公認会計士または監査法人の監査報告書を届け出なければなりません。

このように、学校法人会計には、学校経営の健全性を測定し財政基盤の安定に資すると共に、公教育を担う学校法人の経営状態について社会に開示するという目的があります。

【資金収支】

企業会計の「キャッシュ・フロー計算書」に相当します。学校法人のキャッシュ・フローの状況を把握することができます。

（単位：千円）

科 目		2024年度
収入の部	学生生徒等納付金収入	4,331,499
	手数料収入	88,033
	寄付金収入	18,372
	補助金収入	1,588,705
	資産売却収入	11,099
	付随事業・収益事業収入	236,553
	受取利息・配当金収入	45,455
	雑収入	245,152
	借入金収入	0
	前受金収入	297,042
	その他の収入	3,712,392
	資金収入調整勘定	△ 560,359
	前年度繰越支払資金	3,512,727
	収入の部合計	13,526,675

科 目		2024年度
支出の部	人件費支出	3,400,426
	教育研究経費支出	1,671,729
	管理経費支出	540,377
	借入金等利息支出	4,904
	借入金等返済支出	105,550
	施設関係支出	361,598
	設備関係支出	111,279
	資産運用支出	3,627,687
	その他の支出	373,867
	資金支出調整勘定	△ 402,439
	翌年度繰越支払資金	3,731,695
	支出の部合計	13,526,675

※単位未満を切り捨てしているため、合計が一致しない場合があります。

【事業活動収支】

企業会計の「損益計算書」に相当します。学校法人の事業活動ごとの収入・支出の内容とその均衡状態を把握することができます。

（単位：千円）

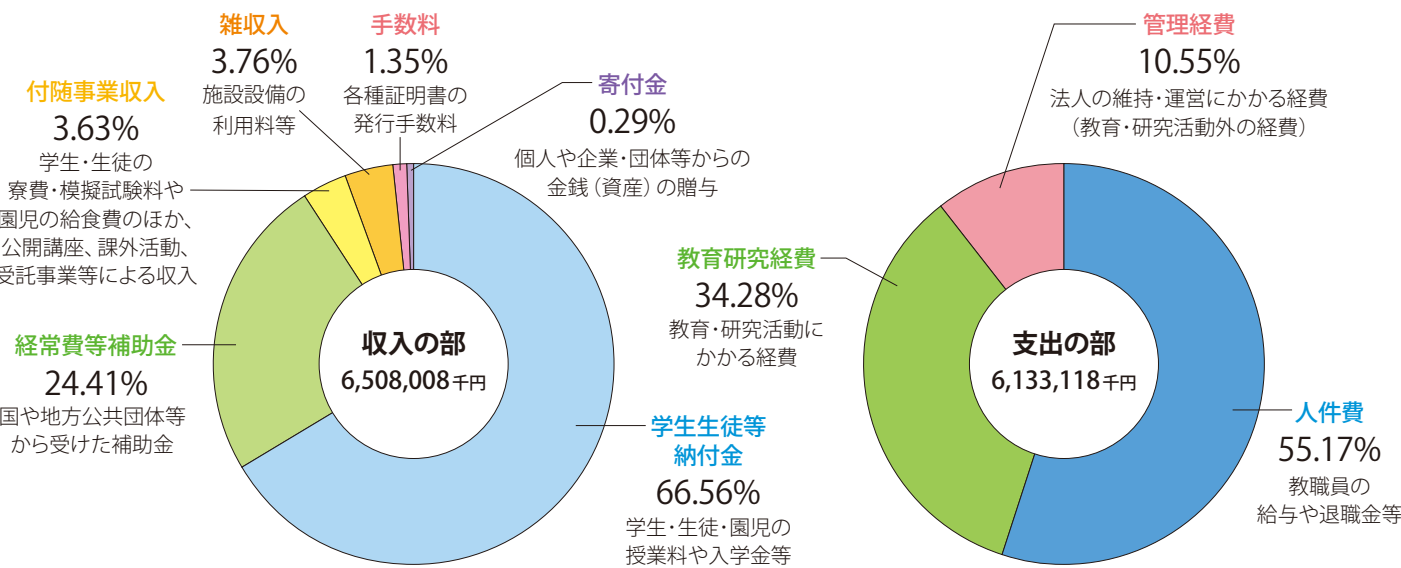
科 目			2024年度
教育活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	4,331,499
		手数料	88,033
		寄付金	18,553
		経常費等補助金	1,588,705
		付随事業収入	236,553
		雑収入	244,663
		収入の部計	6,508,008
	支出の部	人件費	3,382,875
		教育研究経費	2,102,323
		管理経費	646,892
		徴収不能額等	1,026
	支出の部計	6,133,118	
	収支差額	374,890	
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	44,140
		その他の教育活動外収入	1,513
		収入の部計	45,653
	支出の部	借入金等利息	4,904
		その他の教育活動外支出	0
		支出の部計	4,904
	収支差額	40,748	
	経常収支差額	415,639	

科 目		2024年度	
特別収支	収入の部	資産売却差額	729
		その他の特別収入	8,880
		収入の部計	9,610
	支出の部	資産処分差額	46,975
		その他の特別支出	16,350
		支出の部計	63,326
	収支差額		△ 53,715
	基本金組入前当年度収支差額		361,923
基本金組入額		△ 515,406	
当年度収支差額		△ 153,483	
前年度繰越収支差額		△ 3,919,755	
基本金取崩額		1,849	
翌年度繰越収支差額		△ 4,071,389	
事業活動収入計		6,563,272	
事業活動支出計		6,201,348	

事業活動収入は6,563百万円となり、前年度に比べ271百万円増加しました。これは学生生徒等納付金、経常費補助金、雑収入等が増加したことによるものです。事業活動支出は6,201百万円となり、前年度に比べ101百万円増加しました。これは人件費、管理経費等が増加したことによるものです。なお、基本金組入後の当年度収支差額は△153百万円となりました。

※単位未満を切り捨てしているため、合計が一致しない場合があります。

◆事業活動収支における教育活動収支グラフ



【貸借対照表】

企業会計の「貸借対照表」に相当します。学校法人の財政状態の健全性を把握することができます。(単位：千円)

科 目		2024年度末	科 目		2024年度末
資産の部	固定資産	23,281,332	純資産の部	基本金	28,958,475
	有形固定資産	17,079,901		第1号基本金	27,718,475
	特定資産	5,599,048		第2号基本金	790,000
	その他の固定資産	602,382		第3号基本金	—
	流動資産	4,061,644		第4号基本金	450,000
	資産の部合計	27,342,976		繰越収支差額	△ 4,071,389
負債の部	固定負債	1,619,699	純資産の部合計		24,887,085
	流動負債	836,192	負債及び純資産の部合計		27,342,976
	負債の部合計	2,455,891			

※単位未満を切り捨てしているため、合計が一致しない場合があります。

総資産額は27,342百万円で、前年度に比べ305百万円増加しました。これは減価償却により固定資産が減少するなどした一方で、大学新キャンパス用地造成により土地が増加したこと、特定資産が増加したことによるものです。総負債額は2,455百万円で、前年度に比べ56百万円減少しました。これは長期借入金の返済により固定負債が減少したことなどによるものです。

【事業活動収支計算書関係比率】

(単位：％)

比 率	算 式	2023年度	2024年度	増 減
人件費比率	人件費 ÷ 経常収入	52.5	51.6	△ 0.9
教育研究経費比率	教育研究経費 ÷ 経常収入	34.7	32.1	△ 2.6
管理経費比率	管理経費 ÷ 経常収入	9.7	9.9	0.2
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 ÷ 経常収入	68.0	66.1	△ 1.9
経常寄付金比率	教育活動収支における寄付金 ÷ 経常収入	0.3	0.3	0.0
経常補助金比率	経常費等補助金 ÷ 経常収入	23.6	24.2	0.6
経常収支差額比率	経常収支差額 ÷ 経常収入	3.0	6.3	3.3
教育活動収支差額比率	教育活動収支差額 ÷ 教育活動収入計	2.5	5.8	3.3

※経常収入＝教育活動収入計＋教育活動外収入計

【貸借対照表関係比率】

(単位：％)

比 率	算 式	2023年度	2024年度	増 減
純資産構成比率	純資産 ÷ 総資産	90.7	91.0	0.3
総負債比率	総負債 ÷ 総資産	9.3	9.0	△ 0.3

※総資産＝負債の部合計＋純資産の部合計

◆財務の概要の詳細は稲置学園WEBサイトをご覧ください。



「高校生のためのeiga worldcup2024」4部門で見事受賞!!

◆最優秀音楽賞 ◆最優秀録音賞 ◆優秀美術賞 ◆地域産業起しの会賞

昨年の12月8日(日)、特定非営利活動法人 映画甲子園が主催するイベントの最終審査があり、星稜高等学校3年生の堀 文樹(ほりもんしゅ)さんが1年6ヶ月を費やして自主制作・エントリーした映画「インサイドスピリッツ over myself」が4部門で見事受賞しました。

今回はそんな堀さんにインタビューしました。



Q1 映画制作や映像分野に興味を持つようになったきっかけを教えてください。

幼い頃から映画鑑賞が好きだった私が、小学6年生の頃、休日にスマホを操作していて、偶然動画編集アプリ「iMovie」を見つけたのがきっかけです。自分で作った物語を自分で映画にできる可能性を秘めたこのアプリにとっても感動したので覚えています。

Q2 「eiga worldcup」の存在を知った経緯や、エントリーに至るまでの流れについてお聞かせください。

高校生でも応募できる映画コンテストはないかと探し続け、「eiga worldcup」を見つけました。その後、コンテストに応募したいと強く感じ、直ぐさまエントリー作品の制作に取り掛かりました。

Q3 今回の作品を共に制作した仲間とは、どのようなきっかけで出会い、チーム内ではあなたはどのような役割を担ったのでしょうか？

私が所属している星稜高校演劇部の活動を通して知り合った他校の友人たち17人で構成したメンバーで、とても個性豊かで積極的な仲間です。脚本作成や全体の進行、楽曲作成、CG制作、小道具作成、動画編集やカメラワークなどの裏方の仕事は、全て私1人で担当しました。

Q4 制作の中で特に大変だったこと、苦労したことなどがあればぜひ教えてください。

撮影時に、固い雰囲気ではなく、各々が学校、年齢、性別に関係なく自由に意見を出し合い、自然な演技ができる空間作りを心掛けました。あとは撮影スケジュールを組むことが大変でした。初めてのCG制作にも非常に労力を費やしました。作品の構想は2年ほど前から完成していましたが、その内容では評価されないのではないかと考えて書き直したりするうちに、評価されるための作品ではなく、私が作りたいと思える作品を作ることが重要であるという考えに至るまでの非常に長い道のりも苦労した点です。

Q5 この作品にはどんなメッセージが込められていますか？

今作では、自分に勝つ、苦しみには勝つではなく、弱い自分自身を受け入れ苦しみを愛することではじめて人として成長することができるというメッセージが込められています。

Q6 今作のあらすじを教えてください。

第三次世界大戦後、人類はAI「ヒドラ」を開発し、人間の精神を支配することで"完全なる平和"を実現した。人々は見えない仮面をかぶり、本音を抑えて、空気を読んで生きることが当たり前の世界。社会に従えない者は「平和への反逆者」として、ヒドラの手先「死神」によって抹殺される運命にあった。その時、突如として現れた謎の男「本音自人(ほんねじんと)」。果たして、彼はヒドラを倒し「誰もが仮面を被らない世界」を創ることができるのか!? 真の平和とは何か、生きるとは何か。"この世が存在する理由"と、誰もが逃げ続けてきた問いの真実に立ち向かう。

Q7 高校卒業後の進路についてどのようにお考えか教えてください。

趣味として映像作りや作曲りは続けていくとは思いますが、父が寺院の住職でもあり、将来的には家業に専念することになると思います。しかし一度きりの人生、卒業後は今最も興味のある看護の分野で知識を深めて社会に貢献できればと考えています。

最後に、堀さんは取材に対し快く応じてくれ、高校生ながら受け答えも文句なし! 彼は演劇部の主要メンバーでありながらも校内では生徒会長という役割も務め、充実した日々をお過ごしですが、高校生活も残り半年、まだまだ密な青春を期待しています。(広報企画室 宮崎)

コチラから
動画をご覧
いただけます



総合研究所

SDGs産学地域連携センターだより



総合研究所

民間の助成団体等からの資金を獲得し
興味深い研究活動を行っている
教員をご紹介します

本学の外部資金の獲得は科学研究費助成事業（科研費）がメインとなっておりますが、様々な専門分野を擁する民間団体や公的団体などからも研究助成の募集があることをご存じでしょうか。今年度も科研費と同様に魅力のある研究内容として本学教員の研究が採択されています。継続して採択された教員を含めてその研究内容をご紹介します。

石川 美澄 教授（経済学部）1件

〈団体名〉（一般社団法人）北陸地域づくり協会

〈研究課題名〉

震災復興のための「語り部」と「語り部案内人」育成を通じた参加型研究

新谷 洋介 教授（人間科学部）3件

〈団体名〉日本生命財団

〈研究課題名〉

特別支援学校の震災後の対応事例を基にした災害教育教材の開発

〈団体名〉中山隼雄科学技術文化財団

〈研究課題名〉

障害者のニーズを踏まえたアクセシブルなゲーム開発に関するガイドライン策定のための現状調査

〈団体名〉北海道大学 情報基盤センター

〈研究課題名〉

民間企業において活用されている汎用AIサービスの教育的利用の可能性

寺嶋 雅彦 准教授（教養教育部）1件

〈団体名〉上廣倫理財団

〈研究課題名〉

オプティミズムとペシミズムの総合としての「積極的諦念」という生き方

—G.W.ライプニッツの「予定調和」と「最善世界論」から帰結する「積極的諦念」という解釈の強化と現代倫理学におけるその位置づけの萌芽的探索—

「地域連携による地域貢献活動」推進事業

- ・経済学部 石川 美澄 教授
南砺市桜ヶ池エリアにおけるインタープリテーションと実践
- ・経済学部 石川 美澄 教授
津幡町河合谷地域活性化プロジェクト
- ・経済学部 石川 美澄 教授
グリーンシーズンにおけるスキー場麓の活用を考える
- ・経済学部 今村 智子 准教授
中心市街地活性化を目指した個人商店の魅力発掘と魅力発信
- ・経済学部 呉 星辰 講師
生物多様性を生かした地域共創型エコツーリズムの実践と若者参加の推進
- ・経済学部 佐藤 将 講師
地域資源をWEBに残すウィキペディアタウンプロジェクト
- ・人間科学部 丸井 一誠 准教授
身体教育の在り方を考える
—仮想空間における身体知の形成に関する探究的活動—
- ・人間科学部 西村 貴之 教授
Future Challenge Project 2025
障害あるなし関係なく、誰もが手を取りあい共通のスポーツを通じて共に小さな挑戦をし続けられるまちづくりを目指す活動
- ・文学部 前田 昌寛 教授
志賀町小学生英語教育実践プロジェクト+（プラス）

「星稜ジャンプ地域活動プロジェクト」ちいプロ

- ・のとプロ
- ・Kam
- ・SMC
- ・パーチャルワールド探検隊
- ・GFEP
- ・ITCSP
- ・こどもとSDGs
- ・グローバルプロジェクトつなげ隊
- ・FTGs
- ・SDP (Smile Dream Projects)

SDGs産学地域連携センター

2025年度
「地域連携による地域貢献活動」推進事業、
星稜ジャンプ地域活動プロジェクト始動！



総合研究所



SDGs産学
地域連携センター

本学では教育研究の推進と地域貢献活動の活性化のため、「地域連携による地域貢献活動」推進事業（地域貢献事業）及び星稜ジャンプ地域活動プロジェクト（ちいプロ）にて学生団体へ助成を行っています。2025年度において、地域貢献事業9件、ちいプロ10件の計19件が採択されました。各活動については大学・短期大学部ホームページにて随時発信を行いますので、是非ご覧ください。

みなさまからのご寄付で、学生・生徒・園児にエールを

平素より、多大なるご支援・ご寄付を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、「令和6年能登半島地震」に際して、心あたたまるご支援を頂戴いたしましたこと、心より感謝いたします。

本学園は創立100周年に向けて、園児・生徒・学生に対して可能性に満ちた未来を創造するため、段階的かつ持続的な教育を目指した教育改革を推進しております。

皆様におかれましては、質の高い教育を実現し、子どもたちが個性豊かに、そして健やかに学べる教育環境を整備するため、引き続きご支援をいただけますように心よりお願い申し上げます。

ご寄付は、以下のような 目的で活用させていただきます

- 学生・生徒への奨学金
- 教育・研究活動への支援
- 課外活動への支援
- 国際交流への支援
- 修学・保育環境及び教育・研究等設備の整備への支援

寄付金額：一口 5,000円

※一口未満の寄付についても ありがたくお受けいたします

インターネットからのご寄付

クレジットカード決済可能な
インターネットからのご寄付はこちら
詳しくは、学園 HP をご確認ください。

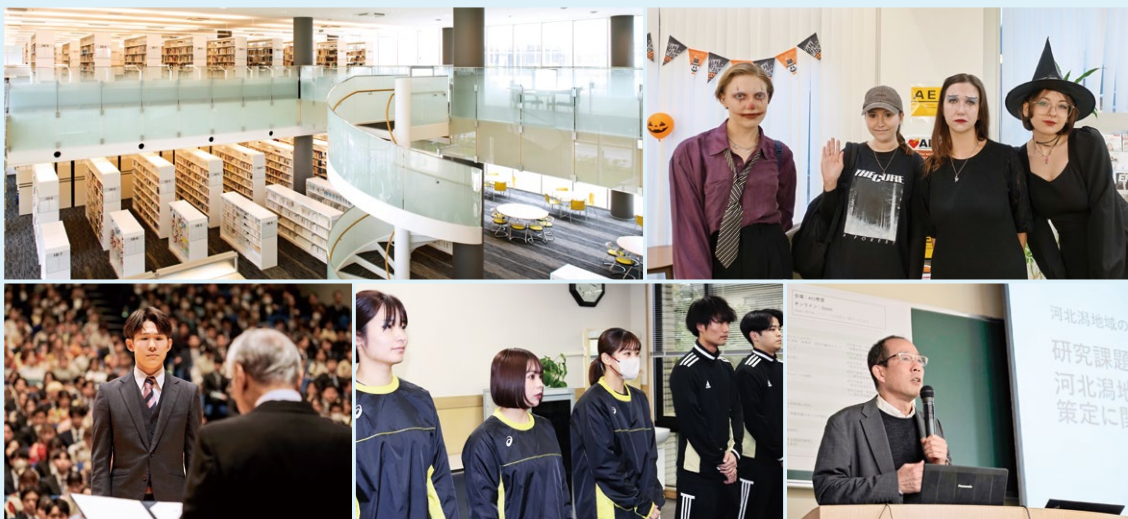
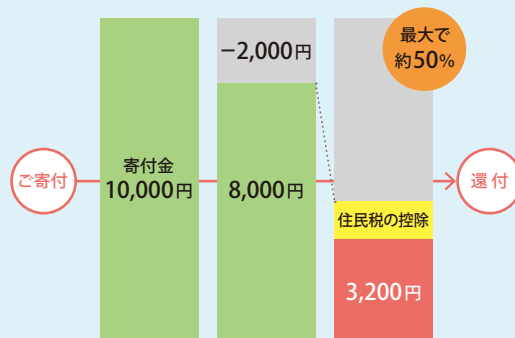


税制上の優遇措置

寄付金に応じた所得税等の還付を受けられます。

1万円寄付した場合の減免税の目安

減税額 3,200円!



Since 1932

星稜

誠実にして社会に役立つ人間の育成

学校法人 稲置学園

バックナンバーを、
ホームページにて公開しています。
<https://www.seiryu.jp/magazine/>



金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部

石川県金沢市御所町丑10番地1
Tel.076-253-3924 (代表)
(大 学) <https://www.seiryu-u.ac.jp/u/>
(短大) <https://www.seiryu-u.ac.jp/c/>

星稜高等学校・星稜中学校

石川県金沢市小坂町南206番地
Tel.076-252-2237 (代表)
<https://www.seiryu-hs.jp/>

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

石川県金沢市御所町寅27番地
Tel.076-252-5057 (代表)
<https://kinder.seiryu.jp/seiryu/>

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園

石川県金沢市泉野町6丁目17番30号
Tel.076-244-5636 (代表)
<https://kinder.seiryu.jp/izumino/>